

令和7年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会（8週間講習）

申請書等記載要領

1 別紙様式1 申請書

- 施設からの申請とし、複数人を申請する場合は、推薦順位を記載する。
- 施設からの申請とする。（※押印は不要）

2 別紙様式2 推薦書

- 受講者が所属する施設長による推薦書であること。
- 必ず所属により作成すること。（※押印は不要）

3 別紙様式3 受講希望者個人調書

(1)「A 受講希望者氏名等」欄

- 必ず受講申請者本人が記載すること。（直筆でなくても、入力でも可）
- 年齢は、令和7年4月1日現在の年齢を記載すること。
- 写真貼付欄には、6か月以内に撮影した正面、脱帽、上半身像のもので、縦4cm×横3cmのサイズ（カラーでも白黒でも可）のものを貼付する。なお、郵送で書類を提出する場合は、写真の裏面に、所属名と氏名を記載しておくこと。

(2)「B 現在の勤務場所」欄

- 「現在の職名」は、勤務先での役職又は、役職のない場合は、看護師、助産師、保健師等の職名を記載する。
- 「現在の担当」は、現在の勤務場所で担っている教育、研究、委員会、検討会等の役割や係りを記載する。

(3)「C 学歴」欄

- 看護職に関わる専門学歴のみ記載する。
- 准看護師免許取得後に看護師免許を取得している場合は、准看護師に係る学歴も記載する。

(4)「D 職歴」欄

- 「就業場所」は、新しいものから記載し、職歴が7行より多くなる場合は、「別紙に記載」とし、別紙に同様の内容を記載したものを添付する。
- 「主な経験内容」は、病院等での勤務経歴は、「内科病棟」等の診療科名がわかるように記載し、看護師等養成所の勤務経歴は担当領域を記載する。

(5)「E 臨床経験年数」欄

- 令和7年3月31日現在の年数を記載する。
- 職種毎の全ての臨床経験年数を記載する。
- 職種ごとの勤務年数の合計は、原則として、職歴欄の就業年月の年数合計と一致すること。
一致しない場合は、その理由を余白に記載すること。（例 12か月育児休業）
- 准看護師免許取得後に看護師免許を取得している場合で、准看護師としての臨床経験がない場合でも、取得免許欄の准看護師には○をする。

(6) 「F 所属施設の実習受入状況及び教育経験」欄

< 1 所属施設の実習受け入れ状況 >

- 所属施設に確認し記載する。
- 現在勤務する病棟が実習病棟でない場合でも、所属施設として他の病棟で受入れをしている場合は記載する。

< 2 教育経験年数 >

- 教育経験年数は、令和7年3月31日現在の年数を記載する。
- 教育経験がある場合は、該当欄に経験年数の合計を記載する。
- 教育経験がある場合は、右の欄も記載する。該当課程が複数ある場合は、全て記載する。

< 3 現在の役割 >

- 左の欄は、現在実習指導をしているかどうか、該当する方に○印をする。
- 右の欄は、実習指導経験がある場合のみ記載する。該当課程が複数ある場合は、全て記載する。

< 4 今後の予定 >

- 該当するものに○印をする。

(7) 「G 志望の動機」

- この講習会の受講動機を記載する。
- 記載内容には、この講習会で学びたいこと、得たいこと、実習指導等で困っていること等を踏まえて、記載欄を概ね埋める程度の内容を記載すること。

(8) 「H 演習グループ希望」欄

- 講習会の中に「実習指導案の作成」の演習を行う際のグループ分けを行う参考とする。
- 必ず、第1希望と第2希望を記載すること。